

「2024 日化協 RC 委員会活動報告会/RC 賞受賞講演会」

..... 次 第

2024年6月24日(月) 13:15~16:50

オンライン開催

| | |
|-------|--|
| 13:00 | 開場 (アクセス受付開始) |
| 13:15 | 開会挨拶 (一社)日本化学工業協会 常務理事 石井 浩 |
| 13:20 | 審査委員長講評及び講演 東京大学 先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー 工学博士 平尾 雅彦 氏 |
| 14:20 | 2023年レスポンシブル・ケア (RC) 賞 受賞講演 RC大賞 旭化成株式会社 延岡支社 |
| 14:50 | RC 審査員特別賞 花王株式会社 SCM 部門 |
| 15:20 | RC 審査員特別賞 三菱ガス化学株式会社 山北工場 |
| 15:50 | RC 優秀賞 三井化学サンアロイ株式会社 |
| 16:20 | RC 優秀賞 DIC 株式会社 化学物質取扱管理改善 WG |
| 16:50 | 閉 会 |

各講演開始時間は、全て記載時間で固定とし、前の発表が早く終了しても繰り上げは行いません。
また途中に休憩時間を設けておりませんが、RC 賞受賞講演は、発表15分+質問10分を標準とし、次の講演までに5分程度のインターバル(切換え準備時間)が入る予定です。

注) 各講演のテーマ・概要につきましては、次頁以降をご参照下さい。

>>>> 講演内容紹介 <<<<

【1】講演：「持続可能な社会構築に貢献するレスポンシブル・ケア活動」

講演概要：レスポンシブル・ケアは、化学産業が社会の一員として取り組むべき環境・安全活動としてスタートしたが、現在では環境・安全にとどまらず、人々のウェルビーイングを向上し、持続可能な社会構築に貢献するグローバルな産業としての積極的行動として位置づけることができる。化学産業とそこで働く人々、産み出される製品サービスを通して、グリーントランスフォーメーションやダイバーシティー&インクルージョンへの期待も大きくなっている。このような社会変革の時代における化学産業への期待を考えたい。

平尾先生ご経歴

1987年 3月 東京大学大学院工学系研究科化学工学専門課程博士課程満期退学
1987年 4月 株式会社 日立製作所入社
1989年 3月 東京大学 工学博士
1996年 1月 東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻 講師
1999年 1月 東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻 助教授
2006年 4月 東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻 教授
2022年 4月 東京大学先端科学技術研究センター 教授
2023年 4月 東京大学先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー

2013年 日本化学工業協会 レスポンシブル・ケア賞審査会議議長就任

【2】日化協レスポンシブル・ケア賞 受賞講演

レスポンシブル・ケア賞は、レスポンシブル・ケア（RC）活動に携わっている方々の活動意欲の向上と活動の活性化とを目指して、2006年に創設されました。そして2013年度の第8回からは、安全表彰・技術賞と並ぶ日化協3賞の一つに昇格させ、現在に至っております。

具体的には、RCの6コード（保安防災、労働安全衛生、環境保全、コミュニケーション、化学品・製品安全、物流安全）に関する活動の普及や推進に優れた功績を残した 或いは 貢献をした事業所・部門・グループまたは個人を表彰しています。

2023年度は、以下の5件をRC大賞、RC審査員特別賞、RC優秀賞として表彰しました。

【日化協RC大賞】 1件

旭化成株式会社 延岡支社

テーマ：『安全な設備づくり』に向けた機械安全活動の推進

活動：旭化成延岡支社（25工場）では、挟まれ巻き込まれ労災を根絶するため、2018年度にリスクの高い6工場が「既存設備機械RA」と「機械安全人材育成」を開始した。2021年度から新たな10工場が加わり、現在16工場で取り組みを進めている。さらに2024年度から2工場も加え18工場で推進していく計画である。

「既存設備機械RA」は、工場と社内・外専門家が連携して設備を改善する成果を挙げ始めた。また現場にある危険源を取り入れたモデル機を製作し、実践研修によって技術基準の理解を深め、危険源を見つける事ができる人財を育成している。

【日化協RC審査員特別賞】 2件

花王株式会社 SCM部門

テーマ：安全・安心の醸成に向けた地域社会とのリスクコミュニケーション

活動：和歌山工場は市街地と隣接しているため、近隣住民を含め工場内外の全ての人の安全を第一

に、長年行政や地域とのコミュニケーションを積み重ねてきている。より安全・安心で信頼される工場になることを目指し、今回は所轄消防局との化学物質漏洩リスクコミュニケーションに挑戦した。この活動から得られた「漏洩量の最小化」対策により近隣住民への健康被害を最大限に防止することができる。さらに所轄消防局と化学物質漏洩の勉強会を開催して、「影響範囲の極小化に向けた行動要領」を確立したことで、事故発生時の迅速で確実な初動対応の強化に繋げることができた。

三菱ガス化学株式会社 山北工場

テーマ：地域に根差し共生する取り組み ～継続的なコミュニケーションと貢献～

活動：神奈川県西部にある緑深い丹沢の山々に抱かれた山北町において地域との共生を営んでいる当工場は、地域との共生、信頼の継続が使命であり、無事故・無災害はその前提であるとして RC 活動に注力している。

町や自治会行事への参加と支援として、地元の祭礼・自治会行事への参加、体育館・グラウンドなどの工場施設の開放を 30 年以上にわたって実施すると共に、地元加盟団体へ参加により、環境保全と安全への取り組みに貢献してきた。

最近では、社会への変化に応じ、生物多様性、フードドライブ支援にも取り組んでいる。

【日化協 RC 優秀賞】 2 件

三井化学サンアロイ株式会社

テーマ：工場基盤の更なる強化を目指した全社員による活動

活動：三井化学サンアロイはグローバルに展開する三井化学グループのモビリティコンパウンド事業のマザー工場であり、国内外の業務に対応できる人材の育成、及び製品を安定生産・供給する使命を有している。

本テーマは、これまで自社で培われた技術や知識、そして様々な失敗から学んだ教訓を次世代に繋げ、マザー工場の機能をより強固なものとするために、全社員が一致団結して「匠の伝承」「普遍化」「意識変革」をキーワードに、種々データの一元化・見える化による改善に取り組んだ活動である。

DIC 株式会社 化学物質取扱い管理改善 WG（略称 CSWG）

テーマ：化学物質取扱い管理体制の改善

活動：DIC では、化学物質による労働災害ゼロを目指し長年取り組んでいる。化学物質の自律的管理を実現するため DIC 国内グループの化学物質の取扱い管理規程を新規制定、管理ワークフローの明確化を行った。また、キーマンになる化学物質管理者等を各部署に配置するため、当社ガイドラインやリスクアセスメント手法をまとめた教育を内製化した。これにより DIC 国内グループで化学物質の適正な管理ができる体制を構築した。

こうした活動は 2022 年全国産業労働安全衛生大会でご紹介しており、弊社への理解を深めて頂く一助ともなっている。

以上